うつくしま ふくしま 土地改良だより

No.509
平成21年１月

ウォーキング～あぶくまの水源を歩こう～　（葛尾村五十人山登山道）

目　次

●新年のごあいさつ…… 2
●第31回全国土地改良大会…… 3
●農業農村整備事業平成21年度予算概算決定額 …… 4
●施設管理関係…… 5
●平成21年度政府農林業予算確保に関する要望活動を実施… 6
●東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会
　が６項目を要請…… 6
●自民党農村基盤整備議員連盟総会で
　地方ブロックからの要望…… 7
●「農業農村整備の集い」開催…… 7
●矢祭町農業集落排水処理施設見学会開催…… 8
●水土里ネット福島　水環境への取り組み…… 10
●農業用水水源地域保全対策事業の取組みについて…… 11
●第20回全国生涯学習フェスティバル…… 11
●【会津美里町文化祭（新鶴）】を開催 …… 12
●【会津美里町文化祭（高田）】を開催 …… 12
●【第12回　三和の里フェスティバル】を開催…… 13
●【柳津町文化祭】を開催…… 13
●【あぶくまふるさとウォーク】を開催…… 14
●【第３回水土里ウォークイン・きたかた】を開催…… 15
●【第５回あいづみさとまち・郷の道・
　　水土里ネット健康ウォーク】を開催…… 15
●【すかがわ産業フェスティバル2008】を開催…… 16
●土地連日誌…… 16
●非補助農業基盤整備資金について…… 18
●非補助農業基盤整備資金の金利改定について…… 18

おかげさまで
みなさまとともに50年
水土里ネット福島

新年のごあいさつ

水土里(みどり)ネット福島
(福島県土地改良事業団体連合会)
会 長 植 田 英 一

明けましておめでとうございます。

皆様には、ご壮健で輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

また、本会の業務運営、農業農村整備事業の推進につきましては、常日ごろ特段のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、前会長の退任に伴い本年１月20日より会長として、その職務を努めさせていただいておりますが、本県の農業・農村の更なる振興発展に努めて参る所存でありますので、今後とも、皆様方のご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ところで、昨今の農業情勢は担い手の高齢化等による耕作放棄地の増加、さらには農村の過疎化・混住化等の進行に伴い集落機能が低下し、食料の生産基盤である農地・農業用水等の適切な保全・管理が困難となってきているなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況を踏まえ、平成21年度の農業農村整備事業関係政府予算案は、「耕作放棄地等再生利用緊急対策」等の関連非公共予算を併せ対前年度比96.4％の6,434億円となっており、食料供給力の強化と農業・農村の振興や活性化を図るため、社会共通資本である農地・農業水利施設の基盤整備とこれら基盤をフル活用するための関連施策を一体的に推進することとしております。

中でも、この度の政府予算案においては、多くの農業水利施設が更新期を迎える中、効率的に寿命を延ばすことを目的として、これまでの基幹的な農業用排水路を対象とした水利施設ストックマネジメント事業に加え、下流部分の水路まで対象を広げた補修工事を支援する新たな事業制度の創設が盛り込まれているところであります。

本会といたしましても、このような施策の方向性に沿って、引き続き、国、県、市町村、そして土地改良区と連携し、本県の農村社会の持続的発展のために農地や農業用水利施設の多面的機能の確保、並びに国民が期待する役割に対し積極的に協力・支援していく考えであります。

また、新たな分野の事業であります水土里情報利活用促進事業におきましても、地図情報（WebGIS）によるデータベースの構築が順調に進められております。平成22年からの運用開始後は、担い手の育成と農地利用集積のさらなる促進や農業用水利施設の適正管理など、農業・農村の振興発展に大きく寄与するものと考えております。

このような農業農村整備事業の実施にあたりましては、役職員一丸となり邁進する所存でありますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご発展を心よりご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

第31回全国土地改良大会

秋田大会開催される

平成20年10月14日（火）から10月16日(木)まで、全国水土里ネット及び水土里ネット秋田の主催により「第31回全国土地改良大会」が「あすを拓く大地　きらめく疏水　たくましき郷～」をテーマに、秋田県秋田市「秋田県立武道館」で全国から土地改良関係者、約3,800名が参加して盛大に開催されました。

本大会では、食料自給率の低下や食の安全・安心に関する課題が山積する中、農業・農村が担っている役割を広く国民にアピールするとともに、明日の活力ある農業・農村づくりのために、今できること・しなければならないことについて確認しあった。

式典では、水土里ネット秋田の高畑進会長が開催県挨拶、全国水土里ネットの野中広務会長が主催者挨拶、秋田県知事と秋田市長代理の歓迎のことば、農林水産大臣代理の来賓挨拶のあと、土地改良事業功労者表彰が行われた。

福島県からは、長年に亘り土地改良事業の推進に多大のご尽力をいただいた郷泰隆阿武隈川上流土地改良区理事長が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受けられました。

郷　泰隆 理事長（阿武隈川上流土地改良区）

続いて、21世紀土地改良区創造運動大賞7地区の表彰と優良地区事例の紹介のあと、農林水産省農村振興局齋藤整備部長が基調報告を行い「食糧自給率の向上に資する農地・農業用水等の食糧供給力の強化」、「農地政策改革」などの状況、地域財産としての農地や土地改良施設を未来の子供たちに向け、しっかりと引き継いでいくことの重要性を示された。

齋藤整備部長

大会宣言は、秋田大学（生物資源科学部）の2人の学生が力強く朗読し、水土里ネットの役割の再認識と資源を後世に伝える努力を訴え、満場の拍手が寄せられた。

進藤暁さんと成田望美さん

その後次期開催県である水土里ネット島根へ大会旗が引き継がれた。

ここで、香川用水土地改良区理事長より緊急動議があり「平成21年度の農業・農村整備事業の予算確保」、「基幹的な農業水利施設の整備は国営事業で実施」の提案を満場一致で可決した。

農業農村整備事業平成21年度予算概算決定額

政府は、12月24日の閣議で平成21年度予算案を決定した。農業農村整備の事項別内訳は次のとおり。

5,772億円（対前年度比86.4%）…①

関連非公共予算（耕作放棄地等再生利用緊急対策等）662億円（皆増）…②

①＋②　6,434億円（対前年比96.4%）

※このほか、地域再生基盤強化交付金（道整備交付金、汚水処理施設整備交付金）措置額を内閣府に計上。

（単位：百万円）

事　　項	H21年度 概算決定額
農業農村整備事業	577,220
（うち農村振興局分）	562,620
【農業生産基盤整備・保全】	505,236
1. 用排水施設の整備	228,479
水利区域内農地集積促進整備事業（新規）	300
地域農業水利施設ストックマネジメント事業（新規）	2,000
2. 農地の整備	130,722
経営体育成基盤整備事業（一般型）のうち農業経営高度化支援タイプ（拡充）	2,000
耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業（拡充）	1,100
3. 農道の整備	23,419
4. 農地の防災保全	81,650
地域ため池総合整備事業（新規）	300
5. その他	40,965
炭素貯留関連基盤整備実験事業（新規）	380
農村環境保全整備推進モデル事業（新規）	50
水田環境向上基盤整備支援事業（新規）	50
【農村整備】	71,984
6. 農業集落排水施設の整備	12,456
7. 農村の総合的整備	30,653
地域用水環境整備事業（拡充）	2,332
8. 中山間地域の整備	27,395
農地環境整備事業（拡充）	1,245
9. その他	1,480

（注）計数整理の結果、異動を生ずることがある。
計数は四捨五入の関係上、端数において合計とは一致しない場合がある。

施設管理関係

（単位：千円、国費）

事　　項	H20予算額	H21 概算決定額	対前年比
〈公的管理関係予算〉	**9,019,434**	**9,588,409**	**106.3%**
国営造成施設管理費	6,186,824	6,749,493	109.1%
うち			
・直轄管理事業	1,257,618	1,148,059	91.3%
・広域農業水利施設総合管理事業	882,057	869,784	98.6%
・国営造成水利施設保全対策指導事業	1,974,199	2,581,150	130.7%
・ストックマネジメント技術高度化事業	1,788,000	1,788,000	100.0%
国営造成施設管理費補助	2,832,610	2,838,916	100.2%
うち			
・県管理費補助事業（農地資源課予算含む）	1,272,160	1,229,604	96.7%
・基幹水利施設管理事業	1,560,450	1,609,312	103.1%
〈公的支援関係予算〉	**6,356,580**	**6,354,909**	**100.0%**
土地改良施設維持管理適正化事業	3,602,580	3,602,580	100.0%
土地改良施設技術管理事業	2,754,000	2,752,329	99.9%
うち			
・国営造成施設管理体制整備促進事業	2,519,000	2,557,308	101.5%
・基幹水利施設管理技術者育成支援事業	215,000	195,021	90.7%
施設管理予算小計	**15,376,014**	**15,943,318**	**103.7%**
〈米対策関係予算〉	**3,987,000**	**743,000**	**18.6%**
新農業水利システム保全対策事業	3,987,000	743,000	18.6%
〈ストックマネジメント関係予算〉	**6,500,000**	**8,266,000**	**127.2%**
基幹水利施設ストックマネジメント事業	6,500,000	6,266,000	96.4%
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	－	2,000,000	皆増
〈水源地域保全関係予算〉	**6,000,000**	**6,000,000**	**100.0%**
農業用水水源地域保全対策事業	1,000,000	1,000,000	100.0%
農業用水水源地域保全整備事業	5,000,000	5,000,000	100.0%
予　算　合　計	**31,863,014**	**30,952,318**	**97.1%**

※１　直轄管理事業及び広域農業水利施設総合管理事業の国費は、国営土地改良事業特別会計の一般会計化に伴い増加する経費（負担金収入、雑収入）を含む事業費で記載。

平成21年度政府農林業予算確保に関する要望活動を実施

平成20年11月20日（木）に本会を含む福島県農林業振興連絡会議の各団体・福島県選出国会議員・県議会議員が一丸となって、国に政府予算に対する要望活動を行った。

本会からは、小林剛総務企画部長が出席。

要望内容

1. 水田農業構造改革と米の計画生産への取組強化について
2. 原油・肥料・飼料高騰など生産コストに着目した経営安定・技術体系の確立について
3. 農業資源を最大活用した食料増産について
4. 食の安全・安心対策の強化について
5. 農業水利施設の計画的な整備・更新の推進について
6. たばこ税の増税反対について
7. 森林整備等の促進と地域材の利用促進について
8. 農地政策改革について
9. WTO農業交渉並びに日豪EPA交渉について

細田幹事長：講演の様子
（自民党本部にて）

石破農水大臣へ要望書を進達
（農水大臣室にて）

東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会が6項目を要請

平成20年11月27日（木）に東北・北海道土地改良事業団体連合会（会長：佐々木勝志宮城県土地連会長）では農林水産省及び農林水産大臣等に対し平成21年度農業農村整備事業の予算確保に向けた要請活動を行った。

本会からは、若松昭雄副会長、渡部敏則専務理事、小林剛総務企画部長が出席。

要望内容

1. 食料自給率向上に向けた担い手の確保と農地の有効利用の推進について
2. 活力ある農村地域づくりの推進について
3. 農業水利施設の計画的な整備・保全管理の推進について
4. 大規模な基幹的農業水利施設の計画的な整備について
5. 地元負担の軽減対策の推進について
6. 平成21年度農業農村整備事業関係予算の確保について

意見交換会
（農水省にて）

自民党農村基盤整備議員連盟総会で地方ブロックからの要望

平成20年11月28日（金）自民党農村基盤議員連盟の総会（80名出席）で地方の各ブロックからの要望活動を行った。東北ブロックからは岩手県の岩手中部土地改良区の菊池勲理事長が後継者確保のための支援等を要望した。

本会からは、渡部敏則専務理事、小林剛総務企画部長が出席。

佐藤昭郎参議院議員

森会長

中條局長

「農業農村整備の集い」開催

平成20年11月18日（火）に全国水土里ネットの主催で、日本青年館大ホールにおいて農業農村整備の集いが開催され全国から関係者約1,000名（本県12名）が出席した。

はじめに「第9回ため池のある風景」写真コンテストの表彰式と、アニメ映画「南の島の水ものがたり～」の上映が行われた。

大会では、野中全土連会長の開会挨拶、石破農林水産大臣祝辞のあと、吹田全土連副会長を議長に選任し議事に入った。

冒頭に基幹的農業水利施設の着実な整備についての特別決議が採択された。次に中條農村振興局長から平成21年度農業農村整備予算についての情勢報告があり、続いて水土里ネット坂井北部（福井県）と水土里ネット遠田郡南郷（宮城県）から意見発表があり、佐藤参議院議員から今後の農業農村への提言があった。

最後に、水土里ネット三重の鈴木専務理事が決議案を朗読し、満場一致で採択し大会を終了した。

大会会場

矢祭町農業集落排水処理施設見学会開催

平成20年10月６日及び21日の両日、矢祭町立関岡小学校の３年生と４年生を対象に矢祭町関岡上と関岡下地区のそれぞれの農業集落排水施設において社会見学会を開催しました。

はじめに矢祭町役場町民福祉課角田孝雄さんより施設のしくみと内容の説明。

次に水土里ネット福島の各担当者が水についての係わり、水の生い立ちと循環、微生物の働きにより処理施設の水がきれいになること。更には久慈川を通って海に流れていくいくメカニズム。また、処理施設を見学しながら水処理の流れに沿って、原水槽から消毒槽までの各槽について、その役割と働きを説明しました。

最後は顕微鏡を使って微生物が有機物を補食しているところを観察し、児童たちは食い入るように覗き込み、どうして水がきれいになるか理解した模様です。

なお、社会見学会のお礼状が届きましたので掲載します。

役場挨拶

顕微鏡観察

水を汚すのは工場？　生活排水？　そして家庭では？

び生物がよごれを食べて水がきれいになっていくんだね

〔こどもたちの作文集〕

ぼくはび生物がとても小さい生き物でおどろきました。これからは油など絶対に流してはいけないと思いました。久慈川をずっときれいにしておくために大切な所だと思いました。

四年　松山　司

よごれた水を集めてきれいにしてから川に流していることがわかりました。び生物がよごれを食べて水をきれいにしているのがわかりとても大事な所だと思いました。これからも川に流す水はきれいな水にしたいです。

四年　竹田　瞳

家から出たよごれた水がたくさん集まっていた所は、とてもくさかったです。でも二か所目、三か所目とふたをあけていくと、だんだんにおいがなくなって水もきれいになっていました。び生物はすごいな。

四年　竹田　樹

ぼくは今までふつうの家だと思っていた所が、水をきれいにするしせつだと見学して初めてわかりました。び生物が大事な役目を果たしていることもよくわかりました。川の水のために約束を守りたいと思います。総合でも川の学習をしているので、教えていただいたことがたくさん役立ちそうです。

四年　菊池　拓哉

ぼくは、家でつかった水はそのまま川に行ってしまうと思っていたけれども、じょう化しせつできれいにするのがよくわかりました。

三年　高沢　一希

おどろいたことは、下水道に色いろな所から水が集まってくるということです。のこった油を台所にすてはいけないことがわかりました。家に帰ってお母さんに話しました。

三年　金澤　尚弥

わたしは、水の中にび生物がたくさん入っているのがびっくりしました。家の人にも、水道に油やせんざいを流さないように、言いました。

三年　古張　礼華

ぼくはび生物という名前をはじめて聞きました。目に見えないのにすごくたくさんいるのでびっくりしました。じょう化しせつは地区によって集められる水がちがうこともよくわかりました。

三年　佐藤　優平

ぼくは、きたない水がじょう化しせつに流れていくとは知りませんでした。び生物という生き物がいることも知りませんでした。今度は油やスープなどを流さないようにしたいです。

三年　藤井　健

わたしは、水の中にび生物がいることを知りませんでした。小さな小さな生物がよごれを食べてくれているおかげで水がきれいになっていくのは、すごいと思いました。

三年　本多　里奈

ぼくは、び生物という生き物がぼくたちの流した水をきれいにする事をはじめて知ってびっくりしました。目に見えなくても役に立っていて、すごいなと思いました。

三年　藤井　友朗

ぼくはじょう化しせつに行って、び生物がぼくたちの流した水をきれいにすると、はじめて知りました。目に見えない小さな生き物なのに、すごい力だと思いました。

三年　丸山　将平

じょうかしせつに初めて行って、び生物がよごれを食べてくれる生物だと初めて知りました。びせい物がたべてくれているおかげで、きれいになるのがよくわかりました

三年　日下　綾菜

私は、び生物が目に見えないくらい小さいのに、たくさんいることにおどろきました。けんびきょうでびせい物が動いているのを見られたのがよかったです。

三年　高沢　美香

ぼくがじょう化しせつの見学で一番心にのこったことは、台所からでてくる水が川をよごしているということです。でも、じょう化しせつでび生物がよごれを食べ、きれいにしていることを初めてしりました。

三年　金澤　竜臣

水土里ネット福島　水環境への取り組み

水土里ネット福島では、農業用水のもつ多面的機能のＰＲ（21創造運動）や農村環境の大切さを広く県民の方々に理解して頂くため、土地改良区等のご協力を得て水に関する様々な活動を行っています。

特に、平成19年度からスタートした「農地・水・環境保全向上対策」では、県内の各活動組織からの委託等により水質試験や、地域の子ども達への環境教育を行っています。

農地水活動組織（育成会）と水質調査

小学校の出前教室
（水環境教室）

（水質試験実習）

去る平成20年12月20日、21日においては郡山市ビッグパレットふくしまで開催された「ふくしま環境･エネルギーフェア2008」に福島県農地･水･環境保全向上対策地域協議会の構成員とし、また、地球にやさしいふくしま県民会議の会員として参加しました。

水質試験コーナーでは阿武隈川の水を上流（西郷村）、中流（郡山市）、下流（福島市）それぞれから採取し、上流・中流・下流の汚れ具合を確認して頂き、農村環境の保全・生態系の保全の大切さや、本県に有する膨大な農業施設を守っていくことの大切さを来場者の方々に知って頂きました。

子供達が水質試験をしている様子

上流と中流、下流との差が確認している様子

農業用水水源地域保全対策事業の取組みについて

【あぶくまの水源を歩こう】を開催

農業用水水源地域保全対策事業の一環として、平成20年10月18日（土）、葛尾川源流散策実行委員会が主催、水土里ネット福島が共催して「あぶくまの水源を歩こう」を開催しました。

都市住民や農村の地域住民が余暇を利用したウォーキング体験で、水源と周辺環境保護の大切さを知っていただき、森と水の連鎖の理解を深める目的で行ったものです。

午前中は、「福島県もりの案内人」により高瀬川の上流域に当たる葛尾川源流の五十人山登山道に入り、天然林と人工林の違いや湧き出る水（水源）を見るなどの体験をしました。（約２km）

昼食は、葛尾村活性化センターを会場に、地元ＪＡふたば女性部葛尾支部の方々による地元食材を使って調理した「ごちそう」が参加者全員に振る舞われ、楽しいひとときを過ごしました。

午後は、磐城森林管理署、石田署長の「日本の森林の現状と地球温暖化対策」と題したお話を聞き、そのあと間伐材を使用した木工クラフトづくりを皆さんで挑戦しました。

最後に地元特産品が当たる抽選会を開催し終了しました。

参加者からは「楽しい企画をありがとう」との感謝の言葉や「自宅に帰ってから、CO_2削減に向けてできることから始めます」など、環境保護の大切さを感じていただけました。

もりの案内人から木の説明

人工林に入り、天然林との違い

木工クラフトづくり

第20回全国生涯学習フェスティバル

【まなびピアふくしま 2008】を開催

第20回全国生涯学習フェスティバル実行委員会主催により、平成20年10月11日（土）～15日（水）に、「まなびピアふくしま2008」が開催されました。

本会は、12日に郡山市のビックパレットふくしまの会場において、資源循環や農業用水水源地域保全について「親子でプランターづくりの体験」や森からでる間伐材の利用、森林（流域）から流れる水の利活用について理解を深めていただきました。

また、既存資源を利用したバイオマスにおける堆肥づくりの工程や種類・標本を展示、バイオプラスチックの展示も同時に行ないました。

親子でプランター作り

出展会場の様子

【会津美里町文化祭（新鶴）】を開催

会津美里町主催により、平成20年10月25日（土）～26日（日）に「会津美里町文化祭（新鶴）」が開催されました。

イベントでは、東京大学進藤特任教授より「資源循環型社会と地域づくり」の講演がありました。当日は、隣接小・中学校の文化祭とも重なり、幅広い年齢層の方々がお話を聞いていました。

本会では、資源循環とバイオマスをわかりやすくまとめたパネルを展示し、「循環型社会の必要性」について啓発しました。

また、風船・パンフレットの配布や福島県産間伐材での親子プランター作りに多くの方々に参加していただき、「森林の大切さ」や「そこから流れた水の働き・役割」について、説明させていただきました。

開会セレモニー（渡部町長挨拶）

親子でプランター作り

【会津美里町文化祭（高田）】を開催

会津美里町主催により、平成20年11月１日（土）～３日（月）に「会津美里町高田文化祭」が開催されました。

本会では、森と水の大切なはたらきに関するパンフレットや風船を配布しました。

旧高田町は堆肥化実験施設があるため、「循環型社会の必要性」を理解されている方が多く、「森林の大切さ」や「そこから流れた水の働き・役割」等、水源地域保全の必要性について共感される方がほとんどでした。

また、作物への影響を考え「その水に合う肥料は、作物はどんなのが良いか？」など、水源と周辺環境の問題については多数の方が興味を示され、多くの質問もありました。

開会セレモニー

配布パンフ・堆肥一式

施設及び堆肥の説明風景

パンフレット、風船を配布

【第12回　三和の里フェスティバル】を開催

いわき市地域交流センター「三和ふれあい館」において、平成20年10月26日（日）に「三和の里フェスティバル」が開催されました。

会場では、地元いわき市のフラダンスショーやジャズ演奏、農産物直売など、多種多様な展示・販売等が催され、多くの方々が楽しんでいました。

本会では、三和土地改良区ブースの一角を借りて、21世紀創造運動、資源循環のパネルを展示し、「森と水の大切なはたらき」や「土地改良区の啓発」に関するパンフレットや風船をお配りし来場者の方々に対し各事業の啓発を行いました。

三和土地改良区ブース

三和土地改良区ブース

【柳津町文化祭】を開催

柳津町主催により、平成20年11月３日（日）に「柳津町文化祭」が開催されました。

本会では、キャラクター入り風船やパンフレットを配布し、「森林の大切さ」や「そこから流れた水の働き・役割」、について啓発しました。

イベント風景

風船配布は大人気

来場者への説明

【あぶくまふるさとウォーク】を開催

農業用水水源地域保全対策事業の一環として、平成20年11月16日（日）、本会主催、あぶくまふるさとウォーク実行委員会が共催し「森と水の連鎖から、水源と周辺環境保護の大切さ」をウォーキングを通して参加者に体験していただくイベントを開催しました。

道の駅ふるさと東和において、本会環境整備部佐藤部長の大会宣言、三保恵一二本松市長の挨拶のあと、相馬街道（別名：奥州西街道）のウォーキングに出発しました。

コース途中では地福寺の境内で紺野雅子さんの昔話を聞き、次に、富士山の見える北限の最高地点で「絶叫コンテスト」を行い、　日頃の「うっぷん」をはらすかのように、皆さん大声で叫んでいました。

絶叫した後は、棚田の景観を右手に見ながら山を下り、途中、馬洗川渓流を眺めながら昼食ポイントに到着。ここでは、地元食材で作ったおにぎりや漬け物、熱々の郷土料理「ザクザク汁」に舌鼓をうち、皆さん満足そうでした。

雨にもかかわらず参加者約150名全員が最後までがんばり、食事中の会話では「自然を大切にしたい」、「この景観を後生に残したい」などの声が聞かれました。

閉会式では、絶叫コンテストの表彰式や地元特産品が当たる抽選会を行いました。

開会式

二本松市　三保市長
歓迎挨拶

地福寺（昔話）

ウォーキング

絶叫コンテスト

棚田の風景

【第３回水土里ウォークイン・きたかた】を開催

水土里ネット会津北部主催により、平成20年10月19日（日）に「秋の涼風とともに歴史の町を散策してみませんか」と呼びかけ「第３回水土里ウォークイン・きたかた」が開催されました。

今回は、喜多方市熱塩加納総合支所（旧役場）をスタートし、日中ダムや紅葉の始まる山々を望み、喜多方市浄水場や日中線記念館・示現寺などを楽しく歩きました。

ゴールではお楽しみ抽選会やスタッフが地元の食材で作ったおいしい豚汁を参加者全員に振る舞っていました。

喜多方市浄水場

飯野会長　開会挨拶

示現寺

【第５回あいづみさとまち・郷の道・水土里ネット健康ウォーク】を開催

会津美里町教育委員会、会津南部地区管理体制整備促進協議会、水土里ネット会津大川主催により、平成20年10月19日（日）に「さわやかな秋風を受けて…」と呼びかけ「第５回あいづみさとまち・郷の道・水土里ネット健康ウォーク」が開催されました。

今回は、本郷運動場をスタートし、集落内にある弁財天や湯殿山では「供養塔から江戸時代の本郷」の説明、御用地分水庭では「水の大切さ」などの説明を受け、最後に水車の公園を巡りスタート地点の本郷運動場に戻る延長6.5ｋｍでした。

ゴールではお楽しみ抽選会やスタッフが地元の食材で作ったおいしい芋汁やおにぎりを参加者全員に振る舞っていました。

スタートから
ゴールの様子

【すかがわ産業フェスティバル 2008】を開催

須賀川市主催により、平成20年10月25日（土）～26日（日）に須賀川アリーナにおいて「すかがわ産業フェスティバル2008」が開催されました。

農業と商工業の活力と消費生活に関するイベンに参加した各団体は、それぞれ工夫を凝らした展示や楽しさあふれる数々のアイディアでイベントを盛り上げていました。

本会では、水土里ネット須賀川、水土里ネット矢吹原、水土里ネット母畑の職員の方々と一緒に、21世紀創造運動のパネルを展示し、土地改良区の啓発パンフレットやアンケートの回答者に記念品などを配り来場者の方々に土地改良区の存在を知っていただきました。

土　地　連　日　誌

月	日	行　　事	開催場所
10月	1日～2日	全国土地改良施設管理事業推進協議会・技術管理部会研究会	佐賀県佐賀市
	2日～3日	農業農村整備事業視察研修（県南支部）	新潟県
	3日	土地改良施設機能更新円滑化対策事業地方研修会	仙台市・パレス宮城野
	9日～10日	コンポスト施設視察研修会	栃木・佐野　群馬・榛東村
	13日～15日	第31回全国土地改良大会　～秋田大会～	秋田県秋田市
	15日～16日	農地・水・環境保全向上対策　相双支部担当者会議	南相馬合庁
	16日	福島県土地改良負担金総合償還対策審査委員会	本会中会議室
	17日	農村総合整備推進事業にかかる担当者研修会	本会大会議室
	22日	21世紀土地改良区創造運動　東北地方大賞奨励賞伝達式	会津北部土地改良区
	23日～24日	農業農村整備事業視察研修（いわき支部）	山形県
	24日	品目横断的経営安定対策支援事業「新安積地区」推進協議会幹事会	安積疏水土地改良区
	24日	農地・水・環境地域協議会　中間監査・表彰審査委員会	本会中会議室
	28日	第2回　東北管内農地・水　担当者会議	仙台・東北農政局
	28日	東北・北海道土地連連絡協議会第2回事務主任者会議	宮城土連
	29日～30日	東北・北海道ブロック管理責任者会議	青森県
	30日～31日	土地改良施設診断管理指導等に関する事例集作成ブロック検討会	青森県
	31日	第2回監事会並びに中間監査	本会役員議室

月	日	行　　事	開催場所
11月	4日～5日	農業農村整備事業　県外視察研修（県北支部）	宮城県
	9日	21年度本会職員採用試験（1次）	本会中会議室
	10日	農地・水・環境地域協議会　優良活動組織表彰審査委員会	本会中会議室
	11日～12日	秋田県土地連　50周年式典	秋田県・秋田キャッスルホテル
	17日	第2回水土里事業担当者会議	東京都・全国都市会館
	19日	耕作放棄地対策関連会議	仙台・東北農政局
	19日～20日	青森県土地連　50周年記念式典	青森県・ホテル青森
	19日～20日	農業農村整備事業視察研修（県中支部）	茨城県つくば市
	20日～21日	農業農村整備事業先進地視察研修（相双支部）	埼玉県
	21日	内部研修「私の歩んできた農政とこれから」講師：植田副会長	本会大会議室
	24日	21年度本会職員採用試験（2次試験）	本会中会議室
	25日	全会津土地改良区・役職員業務研修会（会津支部）	会津若松市
	26日	農業集落排水事業資源循環研修会	本会大会議室
	28日	いわき方部土地改良区役職員研修会	いわき市
12月	1日	農業水利施設機能診断及び維持補修研修会	本会大会議室
	2日	農地・水　活動組織研修会（県中方部）	郡山市
	4日	農地・水　活動組織研修会（県南方部）	西郷村
	10日～11日	21創造運動全国セミナー	東京・国立オリンピック青少年総合センター
	11日	農業農村整備事業担当者研修会（相双支部）	南相馬市
	12日	農地・水　活動組織研修会（南会津方部）	下郷村
	13日	斎藤良道氏　農林水産大臣感謝状受賞祝賀会	白河市・ホテルサンルート白河
	15日	農地・水　活動組織研修会（県北方部）	本会大会議室
	16日	福島県ほ場整備構造政策研究会：定期総会及び研修会	本会大会議室
	17日	農地・水　活動組織研修会（いわき方部）	いわき市
	17日～19日	JQA　ISO更新審査	本会小・中会議室
	18日～19日	県北方部土地改良区職員研修会	二本松市
	22日	第3回監事会（14：00）及び第2回理事会（14：30）	本会役員会議室
1月	9日	「ふくしまむらの輝き2008」写真・絵画コンテスト審査委員会	本会大会議室
	13日	土地改良負担金総合償還対策審査委員会	本会中会議室
	14日	第50回土地改良功労者及び優良団体表彰選考委員会	本会中会議室
	19日	農地・水　第2回中間指導確認（県中支部）　～2月6日まで	各市町村
	21日	農地・水　第2回中間指導確認（県南支部）　～27日まで	各市町村
	21日～22日	農地・水　第2回中間指導確認（いわき支部）	各市町村
	22日	農地・水　活動組織研修会（会津方部）	会津若松市
	26日	土地改良負担金総合償還対策事業担当者会議（第2回）	東京都・砂防会館
	27日	農地・水　第2回中間指導確認（県北支部）～2月6日まで	各市町村
	27日～28日	農地・水　第2回中間指導確認（南会津支部）	各市町村
	30日	県北管内土地改良区役職員、市町村担当職員研修会（県北支部）	福島市
	30日	第1回「働き盛りの健康づくり」運動編	本会大会議室

非補助農業基盤整備資金について

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、農林漁業金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資を行う資金です。

○対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水、飲雑用水など

○融資条件

償 還 期 限：25年以内（うち据置期間10年以内）
融資限度額：地元負担金（最低限度額50万円）
償 還 方 法：元利均等償還、元金均等償還のいずれかを選択

○貸付利率

1.60％（平成21年１月26日現在）
※固定金利であり、償還が終わるまで適用される金利は変わりません
※金融情勢により貸付金利は変動しますので、直近の利率は最寄りの株式会社日本政策金融公庫にお問い合わせ下さい。

非補助農業基盤整備資金の金利改定について

１月19日付け財政融資資金貸付金利（1.70→1.60）の改正に伴い、株式会社日本政策金融公庫及び沖縄振興開発金融公庫の農業基盤整備資金についても下記のとおり１月26日付けで改定されるものである。

記

株式会社日本政策金融公庫　（単位：％）

区分	改定前					改定後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）				融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	1.85	—	—	—	—	1.75	—	—	—	—
団体営補助残	1.70	—	—	—	—	1.60	—	—	—	—
非補助一般	1.70	—	—	—	—	1.60	—	—	—	—
非補助利子軽減	1.70	—	—	—	—	1.60	—	—	—	—
災害復旧	—	1.35	1.35	1.55	1.70	—	1.15	1.15	1.45	1.60

森と水の大切なはたらき

森は雨をきれいなお水にします。

降った雨は、森に蓄えられ少しずつ川に流します。そのほか土砂崩れなどの災害を防いでくれます。

水はこんなふうにみんなに使われています

みんなの生活も森につながっているんだね

森から来たきれいな水は農業や酪農に使われます。

お米や新鮮な野菜を育てたり健康な牛や豚などの命をささえます。

きれいなお水で作られた食べ物がわたしたちの命をささえます。

森からのお水は私たちの毎日の生活の中でたくさん使われています。

水のふるさとは森です。みなさん森を大切にしましょう。

水土里ネット福島
福島県土地改良事業団体連合会

農業用水水源地域保全対策事業

県内の土地改良区ホームページをご紹介いたします。

- 安積疏水土地改良区　http://www.asakasosui.jp/
- 会津北部土地改良区　http://www.aizuhokubu.or.jp/
- 会津宮川土地改良区　http://www.aizumiyakawa.jp/
- 請戸川土地改良区　http://www.ukedogawa.jp/
- 愛谷堰土地改良区　http://www8.plala.or.jp/aiya/
- 雄国山麓土地改良区　http://www.akina.ne.jp/
- 猪苗代町土地改良区　http://www8.ocn.ne.jp/~inadokai/

土地連の登録内容及び有資格者数

土地連の登録内容（H 20.5.1 現在）

登　録　内　容	登録年月日・登録番号
ISO9001:2000/JIS Q 9001:2000 マネジメントシステム登録	H19.2.23 登録証番号 JQA-QMA13143
建設コンサルタント	H17.12.3 建17第7079号 農業土木部門
一級建築士事務所	H19.4.9 第11(904)1975号
計量証明事業登録	H7.7.3 第環34号
測量業者登録	H17.6.2 登録第(2)-26856号
浄化槽保守点検業者登録	H15.5.14 福島県知事登録第1353号
産業廃棄物処分業	H17.11.18 許可番号0720122234号
農業農村整備事業 発注者支援機関認定	H18.10.16 第0606号

各種有資格者数（H 20.5.1 現在）

NO		資　格　名　称	資格人数
測量業者部門	1	測量士	9
	2	測量士補	32
建設コンサルタント部門	3	技術士（農業部門）	2
	4	技術士補（農業部門）	9
	5	技術士補（環境部門）	1
	6	ＲＣＣＭ（農業土木）	11
	7	ＲＣＣＭ（下水道）	2
建築コンサルタント部門	8	１級建築士	1
	9	２級建築士	1
計量証明事業部門	10	環境計量士	1
換地部門	11	土地改良換地士	12
	12	土地改良補償業務管理者	8
集落排水、維持管理部門	13	上級農業集落排水計画設計士	6
	14	農業集落排水計画設計士	1
	15	浄化槽技術管理者	22
	16	浄化槽管理士	23
各部門関連資格	17	土地改良専門技術者	3
	18	１級土木施工管理技士	7
	19	２級土木施工管理技士	3
	20	１級建築施工管理技士	1
	21	１級電気工事施工管理技士	1
	22	第二種電気工事士	1
	23	第三種電気主任技術者	2
	24	１級管工事施工管理技士	1
	25	２級管工事施工管理技士	4
	26	浄化槽設備士	9
	27	公害防止管理者	2

お知らせ：「農家のみなさんへ」の放送内容は、水土里ネット福島のホームページに掲載することとしました。
ホームページアドレス http://www.midorinet-fukushima.jp にて、引き続きご愛読くださるようお願い致します。

農業農村整備の調査測量設計・農業集落排水事業・換地業務・確定測量・その他土地改良事業のご相談は

福島県土地改良事業団体連合会
〒960－8502　福島市南中央三丁目36番地